

基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																	
専門学校 岡山情報ビジネス学院		昭和61年7月26日		学院長 榎原 俊章		〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町1-4 (電話) 086-224-2336																	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																	
学校法人三友学園		昭和61年7月26日		理事長 野津 基弘		〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町1-4 (電話) 086-224-2336																	
分野	課程名	学科名		専任士	高度専任士																		
工業	工業専門課程	国際ITシステム学科		-	-																		
学科の目的	日本国内はもとより母国や海外で活躍できるシステムエンジニアやプログラマー、システムオペレーターなどの実践的な技術や知識を持ったITエンジニアの育成を目指す。併せて、日本企業で就職する際に必要とされる日本語能力や日本におけるビジネスコミュニケーションスキル等を身につけた人材を育成する。																						
認定年月日																							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
3年	昼間	2750時間	875時間	2030時間	160時間	0時間	0時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
90人	33人	33人	4人	2人	6人																		
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～翌年3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価はS、A、B、C、Dの4段階科目終了時に試験、レポート等で評価																			
長期休み	■夏季休業日:8月5日～9月1日 ■冬季休業日:12月23日～翌年2月16日 ■春季休業日:3月2日～3月15日		卒業・進級条件	次の項目を全て満たすこと ・必須53科目、総時間2750時間を履修すること ・出席率90%以上 ・科目の成績評価が全てC以上 ・サーティファイ情報処理検定3級以上を合格																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 電話連絡、保護者面談、家庭訪問等		課外活動	■課外活動の種類 新入生歓迎会、スポーツ大会、学園祭 ■サークル活動: 有																			
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に係る令和2年6月1日時点の情報)																			
	■就職指導内容 担任教師とキャリアサポート室が連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数												
	資格・検定名	種		受験者数	合格者数																		
■卒業生数: 人		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																					
■就職希望者数: 人		■自由記述欄																					
■就職者数: 人																							
■就職率: %																							
■卒業者に占める就職者の割合: %																							
■その他																							
元 年度卒業者に関する 令和2年6月1日 時点の情報)																							
中途退学の現状	■中途退学者 2名 平成31年4月1日時点において、在学者 12名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者 10名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更のため		■中退率 16.7%																				
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: (有)無 ・OIC特別奨学金制度(本校入学者を対象に実施) ・後期授業料免除制度(本校入学後、所定の条件を満たす者を対象に実施) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: (有)無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL) https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/2019.pdf																						

授業科目等の概要

(工業専門課程 国際ITシステム学科) 令和2年度 1年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			中級日本語 語彙・文法Ⅰ	N2レベルの語彙・漢字の学習と文法を整理し、中級レベルの語彙・表現、文法を学習する。	1前期	48	3	○	△		○		○		
○			中級日本語 読解Ⅰ	読解分野について、N2 へのレベルアップを図るために読解の新しい文型を理解する。	1前期	72	4	○	△		○		○		
○			日本文化論・ 事情論	日本の年中行事や、行事の意味や歴史を知るとともに、日本の文化や社会など日本事情に関する知識を習得する。	1前期	24	1	○	△		○		○		
○			コンピュータ 概論Ⅰ	ハードウェア、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、セキュリティなど、ITの基礎的な知識を習得する。	1前期	48	3	○	△		○		○		
○			ビジネス表計 算技法	Excelの基本的なしくみと特徴（計算・グラフ・データベース等）を紹介しながら、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。	1前期	36	2	△	○		○		○		
○			基礎日本語学 Ⅰ	基本的な文章表現のルールを理解し、言葉を用いて豊かに表現したり、理解する能力を身に付ける。文章の構造を意識しながら読む力を身に付け、自分の考えをわかりやすく伝える。	1前期	48	3	○	△		○		○		
	○		日本語能力試 験Ⅰ (N2)	JLPT日本語能力試験 (N2) 取得を目指し、語彙・文法・聴読解・会話作文の各分野について、試験のレベルに対応した問題演習を行う。	1前期	105	2	△	○		○		○		
	○		日本語能力試 験Ⅰ (N1)	JLPT日本語能力試験 (N1) 取得を目指し、語彙・文法・聴読解・会話作文の各分野について、試験のレベルに対応した問題演習を行う。	1前期	105	2	△	○		○		○		
○			中級日本語 語彙・文法Ⅱ	N2レベルの語彙・表現を場面別または機能別学習と、文法、表現を身に付ける学習をする。	1後期	24	1	○	△		○		○		
合計				科目	単位時間(時間)										
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
								1学年の学期区分				2期			
								1学期の授業期間				15週			

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(工業専門課程 国際ITシステム学科) 令和2年度 1年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			中級日本語 読解Ⅱ	N2レベルの短文、中文、長文の読解を身に付ける学習をする。	1後期	24	1	○	△		○		○		
○			コンピュータ 概論Ⅱ	コンピュータに関わる原理や基礎技術について必要なハードウェア、プログラミング学習に必要なソフトウェアに関する知識を習得する。	1後期	72	4	○	△		○		○		
○			アルゴリズム 概論Ⅰ	プログラム作成時に必要なアルゴリズムについて学習を行う。プログラムの流れを考え正解が一つではない事を第一に理解する。	1後期	36	2	○	△		○		○		
○			VBプログラ ミング演習	FormをベースとしたWindowsアプリケーションの作成方法について、使い方と文法を中心に学習する。	1後期	48	3	△	○		○		○		
○			基礎日本語学 Ⅱ	基本的な文章表現のルールを理解し、言葉を用いて豊かに表現したり、理解する能力を身に付ける。文章の構造を意識しながら読む力を身に付け、自分の考えをわかりやすく伝える。	1後期	24	1	○	△		○		○		
	○		日本語能力試 験Ⅱ (N2)	JLPT日本語能力試験 (N2) 取得を目指し、語彙・文法・聴読解・会話作文の各分野について、試験のレベルに対応した問題演習を行う。	1後期	105	2	△	○		○		○		
	○		日本語能力試 験Ⅱ (N1)	JLPT日本語能力試験 (N1) 取得を目指し、語彙・文法・聴読解・会話作文の各分野について、試験のレベルに対応した問題演習を行う。	1後期	105	2	△	○		○		○		
○			ビジネス文書 作成技法Ⅰ	Wordの基本的なしくみと文章を作成するための様々な補助機能を活用し、ビジネス文書作成技術を習得する。	1後期	24	1	△	○		○		○		
○			基礎英語	英語による外国の文化や教育観に触れ、急速なグローバル化に対して、英語で基本的なコミュニケーションが取れることを目指す。	1後期	24	1	○	△		○		○		
合計			科目		単位時間(時間)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(工業専門課程 国際ITシステム学科) 令和2年度 1年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ビジネス実務 I	新入社員として必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目指す。	1 通 年	48	3	○	△		○		○		
合計						17科目	810単位時間(37単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(工業専門課程 国際ITシステム学科) 令和2年度 2年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			上級日本語 語彙・文法Ⅱ	N1試験で出題される語彙と文法を機能ごとに学び、併せて重要表現及び敬語も学ぶ。	2前期	32	2	○	△		○		○		
○			上級日本語 読解Ⅱ	N1レベルの短文、中文、長文の読解を身に付ける学習をする。	2前期	32	2	○	△		○		○		
○			ビジネス日本語Ⅰ	日本のビジネスに必要な基本的なことを身に付ける。敬語の意味や使い方を学習しながら、実際の会話で使う練習をする。	2前期	32	2	△	○		○		○		
○			情報セキュリティ概論	現状の最先端の通信ネットワークテクノロジーを確認し、実社会での通信ネットワーク技術の運用技術を学ぶ。	2前期	32	2	○	△		○		○		
○			アルゴリズム概論Ⅱ	プログラムの流れを考え、如何に効率よく作れるか、論理的に処理手順を考える能力を身に着ける。また、疑似言語も学ぶ。	2前期	32	2	○	△		○		○		
○			C言語演習Ⅰ	プログラムの流れを考え、必要な文法をどう使って作成できるか、基本文法の修得をする。	2前期	32	2	△	○		○		○		
○			C言語プログラミング演習Ⅰ	プログラミング技術を四則演算、分岐、配列、繰り返し等の演習中心にプログラムを作成する。	2前期	80	3	△	○		○		○		
○			システム制御演習Ⅰ	Lego Mindstormsを使い、各センサーの働きかたを体験する事で、組込みシステム技術を身につける。	2前期	32	2	△	○		○		○		
	○		日本語能力試験Ⅱ(N2)	JLPT日本語能力試験(N2)取得を目指し、語彙・文法・聴読解・会話作文の各分野について、試験のレベルに対応した問題演習を行う。	2前期	105	2	△	○		○		○		
合計				科目	単位時間(時間)										
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
								1学年の学期区分				2期			
								1学期の授業期間				15週			

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(工業専門課程 国際ITシステム学科) 令和2年度 2年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		日本語能力試験Ⅱ (N1)	JLPT日本語能力試験 (N1) 取得を目指し、語彙・文法・聴読解・会話作文の各分野について、試験のレベルに対応した問題演習を行う。	2前期	105	2	△	○		○		○		
○			Java言語演習Ⅰ	Javaプログラムの流れを考え、必要な文法をどう使って作成できるか、基本文法の修得をする。	2前期	32	2	△	○		○		○		
○			基礎日本語学	基本的な文章表現のルールを理解し、言葉を用いて豊かに表現したり、理解する能力を身に付ける。文章の構造を意識しながら読む力を身に付け、自分の考えをわかりやすく伝える。	2通年	62	4	△	○		○		○		
○			ビジネス日本語Ⅱ	電話対応、依頼など実際の場面を設定して実践的に学び、ロールプレイングで実際のやりとりを行い、就職活動の基礎も学ぶ。	2後期	30	2	△	○		○		○		
○			C言語演習Ⅱ	ファイル操作も含めポインタ、関数、構造体等を演習中心に学習する。	2後期	30	2	△	○		○		○		
○			C言語プログラミング演習Ⅱ	ファイル操作も含めポインタ、関数、構造体等のプログラムを作成する。	2後期	60	3	△	○		○		○		
○			Java言語プログラミング演習Ⅰ	プログラミング技術を四則演算、分岐、配列、繰り返し等の演習中心にプログラムを作成する。	2後期	45	3	△	○		○		○		
○			Webサイト制作演習Ⅰ	Webページおよびサイトの制作手法や、技術面だけでなく、関連技術やモラルなども学習する。	2後期	30	2	△	○		○		○		
○			CAD演習	AutoCADを使い、図面の作成技術習得を目指し、押さえておきたい技術レベルの問題を解きながら学習。	2後期	60	4	△	○		○		○		
合計				科目	単位時間(時間)										
卒業要件及び履修方法									授業期間等						
									1学年の学期区分			2期			
									1学期の授業期間			15週			

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(工業専門課程 国際ITシステム学科) 令和2年度 2年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			キャリア実習 I	実際の現場で実習することにより理論と実践の相互関係を理解し、基礎的な知識・技術力を身につける。	2後期	80	2			○		○	○		○
○			プレゼンテーション技法 I	PowerPointを使用し 基本的な操作方法を理解し、プレゼンテーションの演習を行う。	2後期	30	2	△	○		○		○		
○			IT業界英語	IT業界で実際に使われている英語に触れ、業務で必要となる英語での表現方法と継続して英語を学ぶ姿勢を養う。	2後期	30	2	○	△		○		○		
○			情報処理技術者	サーティファイ情報処理技術者能力認定試験3級合格レベルの学習。適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行う。	2前期	50	2	△	○		○		○		
○			ビジネス実務 II	社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を行うことにより、1年次からのレベルアップを目指す。	2通年	62	4	○	△		○		○		
合計						22科目	1010単位時間(53単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(工業専門課程 国際ITシステム学科) 令和2年度 3年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			キャリア実習Ⅱ	実際の現場で実習することにより理論と実践の相互関係を理解し、基礎的な知識・技術力を身につける。	3前期	80	2			○		○	○		○
○			ビジネス日本語Ⅲ	ビジネスの現場で通用する日本語能力と共に、社会人基礎力、異文化調整能力を総合的に学ぶ。	3前期	38	2	○	△		○		○		
○			Java言語演習Ⅱ	Java言語の主要な事項や特徴的な機能についてマスターし、プログラムの作成を通してJavaプログラミングの基礎を学ぶ。	3前期	38	2	△	○		○		○		
○			Java言語プログラミング演習Ⅱ	基本的な文法及び、オブジェクト指向の考え方を学習し、オブジェクト指向を用いたプログラミングができるようになる。	3前期	76	3	△	○		○		○		
○			Webサイト制作演習Ⅱ	JavaScriptを用いて動的なアプリケーションを作成する。	3前期	76	3	△	○		○		○		
○			CG演習Ⅰ	画像の加工、調整、多くの機能を効果的に実務に活かすことのできる能力を身につけます。	3前期	76	3	△	○		○		○		
○			データベース演習	SQLの基本的な文法及び、正規化の考え方を学ぶ。	3前期	76	3	△	○		○		○		
○			プレゼンテーション技法Ⅱ	企画したシステムを演習を通じ、効果的なプレゼンテーション力を身に着ける。	3後期	60	3	△	○		○		○		
○			CG演習Ⅱ	描画作成、グラデーションのコントロール、高度なグラフィックスタイルの作成など、多くの機能を効果的に実務に活かすことを学習する。	3後期	45	3	△	○		○		○		
合計				科目	単位時間(時間)										
卒業要件及び履修方法									授業期間等						
									1学年の学期区分			2期			
									1学期の授業期間			15週			

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(工業専門課程 国際ITシステム学科) 令和2年度 3年生																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			システム制御演習Ⅱ	実機を利用して工場の制御システム及びラダー言語の基礎を学習する。	3後期	45	3	△	○		○		○			
○			卒業研究Ⅰ	システム開発の一連の工程を経験することで、開発の要点や開発を進める技術力やチームワークを身に着ける。	3後期	91	3	△	○		○		○			
○			卒業研究Ⅱ	システム企画、基本設計、プログラミングの工程を経てシステムを完成させる。また、チームで開発を行うことでチームワークを身に着ける。	3後期	104	3	△	○		○		○			
○			企業リテラシー	会社から要求される社会人としての会社に対しての一般常識を学んでいく。	3前期	57	2	○	△		○		○			
○			ビジネス実務Ⅲ	「ことば」の力を強化し、社会人としての心構えを身につける。	3通年	68	4	○	△		○		○			
合計						14科目	930単位時間(39単位)									
						総科目	53科目	総時間 2750時間								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
次の項目を全て満たすこと ○必須53科目、総時間2750時間を履修 ○卒業基準検定に合格(サーティファイ情報処理検定3級以上) ○出席率90%以上 ○科目の成績評価が全てC以上								1学年の学期区分			2期					
								1学期の授業期間			15週					

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。